



ロベルト酒井の 南十字の 空から

平成 25 年度 ブラジル通信

No. 8 9 月 30 日 ~ 10 月 2 日

発行者 豊橋市教育委員会

酒井 憲一

第3の訪問地 パラナヴァイ市へ

9 月 30 日(月)夜 (日本時間 10 月 1 日 早朝)、ロンドリーナ市から約 150km 離れたパラナヴァイ市に到着しました。

豊橋市とパラナヴァイ市は 2008 年に教育提携を調印し、両市の教育関係者を相互派遣し、教育交流を図っています。

私は、途中 1 週間ほどマリンガ市を訪問しますが、9 月 30 日から 11 月 22 日までパラナヴァイ市に滞在します。3 ヶ月のブラジル滞在期間のほとんどをパラナヴァイ市で過ごすわけですが、大切なミッションがたくさんあるので、少しでも成果が上がるよう時間をかけて粘り強く取り組みます。



パラナヴァイ市長 表敬訪問



パラナヴァイ市長と握手

10 月 2 日 (水) パラナヴァイ市のロレンゼッチ市長が温かく迎えてくれました。私が、「豊橋と教育提携を結んでくださったことやパラナヴァイ市の教員を豊橋に派遣して下さること、毎年指導主事が派遣される事業を理解し、協力して下さること」に感謝の気持ちを述べると、市長は「豊橋と教育提携を結べたことは光栄です。また豊橋の佐原市長や加藤教育長がパラナヴァイ市に何回も訪問して下さったり、私が豊橋を訪問した際には、温かく迎えてくださったりしたことに感謝します。パラナヴァイの日系人は市の発展に貢献している。だから恩返しのつもりで、東日本大震災の時はパラナヴァイの教員を 3 名派遣し、ブラジルの子どもたちのケアにあたった。これからも協力するし、あなたがパラナヴァイ滞在中、困ったことがあったら何でも言ってほしい。」と仰ってくださいました。

実は、この日の夜、豊橋市立岩西小学校と交流があるカイーキ学校(市立)の発表会があり、市長も鑑賞されました。市長は挨拶の時に私を壇上に招いて、「教育提携を結んでいる豊橋からサカイ先生が来られている。ブラジルには日本から帰国し、ポルトガル語が不十分で困っている子どもがたくさんいる。パラナヴァイと豊橋の友誼の絆として、これからもそのような子どもたちを皆さんと共に支援し、新しい未来をつくりたい。」と述べられ、何回も「サハラ (豊橋市長)」「カトウ (豊橋市教育長)」という名前を出してくれました。豊橋とパラナヴァイの絆の深さを実感するとともに、市長が豊橋との関係を大切にされている熱い気持ちを感じました。

実は、この日の夜、豊橋市立岩西小学校と交流があるカイーキ学校(市立)の発表会があり、市長も鑑賞されました。市長は挨拶の時に私を壇上に招いて、「教育提携を結んでいる豊橋からサカイ先生が来られている。ブラジルには日本から帰国し、ポルトガル語が不十分で困っている子どもがたくさんいる。パラナヴァイと豊橋の友誼の絆として、これからもそのような子どもたちを皆さんと共に支援し、新しい未来をつくりたい。」と述べられ、何回も「サハラ (豊橋市長)」「カトウ (豊橋市教育長)」という名前を出してくれました。豊橋とパラナヴァイの絆の深さを実感するとともに、市長が豊橋との関係を大切にされている熱い気持ちを感じました。



地元紙の市長との懇談記事

パラナヴァイ地区州教育事務所、パラナヴァイ市教育局 表敬訪問

話が前後しますが、10月1日（火）にパラナヴァイ地区州教育事務所長およびパラナヴァイ市教育局長を表敬訪問しました。

州教育事務所ではホザナ所長が、市教育局ではアパリシダ局長がそれぞれ迎えてくれました。



州ホザナ所長と懇談



アパリシダ局長と握手

ホザナ所長には、クリチバでの州教育局の対応にお礼を述べるとともに、双方には今回の私のミッションについて説明しました。それぞれ深い理解を示してくださり、スケジューリングなど詳細な打ち合わせができました。今後、事業の成果が具体的な形になるよう働きかけていきます。

カイーキ学校(市立)発表会

前述のカイーキ学校の発表会の様子です。今年のテーマは「遊び」。子どもらしい発想で、歌や踊り、自分たちで考えたセリフが発表され、楽しく華やかなものでした。ただ、平日の19:30~21:00に市内の劇場での発表という形式は、日本ではありえないことだと思いました…。



私を紹介する市長



子どもたちの演技

ロベルト酒井の「こんな時どうスルー？」

前号の答えは②です。①の飛行機は、わずか45分で到着するのですが値段が高いです。②のバスは6時間かかりますが、飛行機の半額です。「6時間？」と思われるでしょうが、ブラジルは鉄道が発達していないため、8時間10時間のバス移動は常識です。さらに、バスには3つのランクがあり、普通のシートと快適なリクライニングシート、そして「寝台車」と言われるベッド状になるシートの3つです。私はリクライニングシートのランクにしましたが、日本より快適でした。

③は論外ですが、実はブラジルでは自転車やオートバイなどの二輪車をあまり見かけません。そして自動車が多く、歩行者より車優先なので、結構スピードを出します。私がインドネシアにいたときはオートバイと車の数が同じくらいで、ベトナムに行ったときはオートバイが多く、道路が「二輪車の川」のようでした。アジアはまだ二輪車が多いです。以上、海外生活・旅行の自慢でした。

さて第8問。(最近ネタがなくなってきて困っていますが…) 私は、ある訪問先で「お茶にしましょう」と言われました。ブラジルでは通常、コーヒーとマテ茶が出され、自分で選びます。私は好きなコーヒーにしようとしたら、「このオレンジジュースはパラナヴァイで収穫されたもので作られています」と冷蔵庫から出され、コップに注がれました。(あれっ? コーヒーじゃないの?)

そこで、ジュースを飲んだ私はどんなことを言ったでしょう。

答えは次号で!

① 「すみません。コーヒーも飲みたいのですが・・・」と遠慮がちに言った。

お世辞

② 「私の妻の故郷(蒲郡)もみかんで有名ですが、こちらの方がおいしいです。」と本心を言った。

③ 「おいしいので持ち帰りたい。このタッパにジュースを入れてください。」と明るく言った。